

ChatGPTで月5万円稼ぐライティング術

～年商数億円のWEBライターが教える、初心者でも3ヶ月で結果を出す完全ロードマップ～

【販売価格：30,000円】

この記事を読んでいるあなたへ。

「AIで副業って本当に稼げるの?」「ChatGPTを使えば誰でも稼げる、という話を聞いたけど何から始めればいいのかわからない」

そう思っているなら、この記事はあなたのために書きました。

私はWEBライターとして年間数億円を稼いでいますが、ChatGPTが登場してからの2年間で、私の仕事の質もスピードも劇的に変わりました。そして、AIを正しく使えば初心者でも月5万円を達成できる道筋が、今はっきりと見えています。

この記事では、理論ではなく「実際に動ける手順」だけをお伝えします。

はじめに：なぜ今、ChatGPTライティングで稼げるのか

結論から言います。

今のWEBライター市場は「ChatGPTを使いこなせる人」と「使えない人」で、仕事の量も単価も3～10倍の差が生まれています。

具体的な数字で示します。

- ChatGPT非使用のライター：1記事（2,000文字）を書くのに平均3～4時間、単価は3,000～5,000円
- ChatGPT活用ライター：1記事（3,000文字）を書くのに平均45～60分、単価は8,000～15,000円

この差はどこから生まれるのか。答えは「スピードと品質の両立」です。

AIを使えば調査・構成・初稿作成が驚くほど速くなります。その時間的余裕を使って編集・推敲・差別化に集中することで、クライアントが「また頼みたい」と思う品質が出せます。

しかし、多くの方はここで間違えます。

「ChatGPTに丸投げすれば稼げる」と思っているのです。

それは完全な誤りです。

ChatGPTが生成した文章をそのままクライアントに納品すると、以下のことが起きます。

- Googleのアルゴリズムに「AIコンテンツ」と判定され、検索順位が下がる
- クライアントに「AI丸投げ」がバレて契約終了になる
- 記事の品質が均一化・薄くなり、他ライターとの差別化ができない

では、正しい使い方は何か。それをこの記事で全て教えます。

目次

1. 月5万円達成のための全体設計図
 2. 必要なツールと初期設定（費用：月額3,000円以下）
 3. 稼げるジャンルの選び方（私が実際に使う選定基準）
 4. ChatGPTを使った「受注できるポートフォリオ」の作り方
 5. クラウドソーシングでの実践的な受注戦略
 6. ChatGPTを使った記事制作の完全フロー（テンプレート付き）
 7. 単価を3倍にする「提案書」の書き方
 8. 月5万円を超えてからのスケールアップ戦略
 9. よくある失敗パターンと対処法
 10. まとめ：3ヶ月で月5万円を達成するためのスケジュール
-

第1章：月5万円達成のための全体設計図

まず「月5万円」を数字で分解する

目標を達成するには、逆算思考が不可欠です。

月5万円を達成するための方法は、大きく3パターンあります。

パターンA：低単価×大量受注

- 1記事3,000円 × 17記事 = 51,000円
- 問題点：ChatGPTを使っても月17記事はかなりの作業量。最初の1~2ヶ月は現実的ですが、疲弊しやすいモデルです。

パターンB：中単価×標準受注（推奨）

- 1記事8,000円 × 7記事 = 56,000円
- これが最初に目指すべき形です。ChatGPTを活用すれば、週1~2記事のペースで無理なく達成できます。

パターンC：高単価×少数受注

- 1記事20,000円 × 3記事 = 60,000円
- 実績が積み上がった2~3ヶ月目以降に狙えるモデルです。

私が推奨するのはパターンBを起点として、徐々にパターンCへ移行する戦略です。

3ヶ月のロードマップ概要

月	主な活動	目標収益
1ヶ月目	準備・ポートフォリオ作成・最初の受注	1~2万円
2ヶ月目	受注を安定化・単価交渉開始	3~4万円
3ヶ月目	高単価案件受注・継続契約を獲得	5万円以上

焦らないことが重要です。1ヶ月目から5万円を狙おうとすると、低品質な仕事を大量にこなす毘にはまります。

第2章：必要なツールと初期設定（費用：月額3,000円以下）

必須ツール一覧

①ChatGPT Plus（月額3,000円）

無料版でも使えますが、Plus（有料版）を強く推奨します。理由は3つです。

- GPT-4が使えるため、文章の品質と論理性が格段に上がる
- 応答速度が速く、作業効率が2~3倍になる
- カスタム指示（後述）が使えるため、毎回同じ設定をせずに済む

「月3,000円は高い」と思う方もいるかもしれませんが、しかし1記事3,000円の案件を1本受注すれば元が取れます。必要経費と割り切ってください。

②Googleドキュメント（無料）

記事の執筆・保存・クライアントへの納品に使います。Wordでも問題ありませんが、Googleドキュメントの方がクライアントとのリアルタイム共同編集がしやすく、プロらしく見えます。

③Googleスプレッドシート（無料）

受注管理・単価管理・キーワード管理に使います。後述する管理テンプレートを活用してください。

④Canva無料版（無料）

ポートフォリオ用のサムネイルやプロフィール画像の作成に使います。

⑤クラウドソーシングアカウント（無料登録）

以下の2つに登録してください。

- **クラウドワークス**：日本最大のクラウドソーシング。案件数が多く、初心者でも受注しやすい
- **ランサーズ**：クラウドワークスより単価が高め。2つ同時に使うことで受注チャンスが倍になる

ChatGPTのカスタム指示設定（重要）

ChatGPT Plusには「カスタム指示」機能があります。これを設定することで、毎回の記事作成で同じ前提情報を入力する手間が省けます。

設定場所：ChatGPT画面右上のアイコン → 「カスタム指示」

「ChatGPTについて知っておいてほしいこと」欄に入力する内容：

私はフリーランスのWEBライターです。

- ・ターゲット読者：20～40代の一般消費者または中小企業の経営者
- ・文体：です・ます調、読みやすく親しみやすい表現
- ・専門用語は必ず平易な言葉で補足説明する
- ・根拠のない断定表現は避ける
- ・Googleのコアアップデートを意識したE-E-A-Tを重視した構成を提案してほしい

「ChatGPTにどう答えてほしいか」欄に入力する内容：

- ・見出し構成を提案する際は、必ずH2・H3の階層を意識して提案してください
- ・文章を生成する際は、不自然なAI文体（「～でしょう」「～といえます」の多用）を避けてください
- ・提案は常に複数案（最低2案）出してください
- ・完成した文章は必ず「改善点」も3つ提示してください

この設定をするだけで、ChatGPTの出力品質が明らかに上がります。初日に必ず設定してください。

第3章：稼げるジャンルの選び方（私が実際に使う選定基準）

ジャンル選びが収入を決定する

多くの初心者が「何でも書けます」でプロフィールを作ります。これは最も稼げない戦略です。

専門ジャンルを持つライターは、そうでないライターより平均2～3倍の単価を取れます。

理由は明快です。クライアントは「専門家に頼んでいる安心感」に対してお金を払うからです。

稼げるジャンルの選定基準（3つの軸）

軸①：検索需要が高く、企業が継続的に記事を発注するジャンル

以下はライティング需要が特に高いジャンルです：

- ・ **金融・保険・投資**：単価が高い（1記事15,000～30,000円）。YMYLジャンルのため専門性が求められる
- ・ **医療・健康・美容**：需要が常に高い。資格がなくても書けるが、監修者が必要なケースも
- ・ **転職・キャリア・副業**：市場が拡大中。ChatGPTとの相性が特に良い
- ・ **IT・ガジェット・SaaS**：単価が中～高め。技術的な知識があれば有利

- **不動産・住宅**：地域特化でニッチを取りやすい

軸②：自分が3ヶ月で「詳しいふり」ができるジャンル

専門家である必要はありません。ただし、以下が重要です：

- 自分がユーザーとして経験したことがある（例：副業、転職、節約）
- 調べれば理解できる（プログラミング言語の構文など、学習コストが極端に高いジャンルは避ける）
- ChatGPTで調査しやすい（最新情報より「考え方や方法論」が中心のジャンル）

軸③：継続発注が期待できるジャンル

単発案件より継続案件の方が収入が安定します。継続発注が多いジャンルは：

- オウンドメディア運営企業が集客目的で発注するコンテンツ（SEO記事）
- ニュースメディア・情報サイトの定期コラム
- 企業のブログ・メルマガ

私が初心者にも最も推奨するジャンル

「副業・お金・節約」ジャンルです。

理由：

1. 読者（あなた自身）がターゲット層であり、情報収集が自然にできる
2. ChatGPTとの相性が抜群（方法論・ノウハウ系の記事が多い）
3. 競合は多いが、「実体験」を混ぜることで差別化できる
4. 案件数が多く、初受注しやすい

もし「副業・お金」に興味がないければ、自分が過去に経験した出来事（転職、育児、趣味）をジャンルにしてください。

第4章：ChatGPTを使った「受注できるポートフォリオ」の作り方

ポートフォリオがなければ受注はできない

クラウドソーシングで仕事を取るには、実績かポートフォリオが必要です。

実績がない初心者がすべきことは、**ChatGPTを使ってポートフォリオ記事を自分で作る**ことです。

ポートフォリオとして必要な記事数は**最低3本**です。理想は5本。

ポートフォリオ記事の条件

以下の条件を全て満たす記事を作ってください：

- 文字数：2,000～3,000文字（長すぎても読まれない）

- 構成：H1（タイトル）→H2見出し3～5個→本文→まとめ
- キーワード：検索需要があるキーワードを1つ含める
- 読者目線：「この記事を読んで何ができるようになるか」が冒頭に明記されている
- 独自性：体験談・具体的な数字・私見が最低1か所入っている

ChatGPTを使ったポートフォリオ記事制作の手順

ステップ1：キーワードを決める

Googleの検索窓に自分のジャンルの言葉を入れて、サジェスト（自動補完）されるキーワードを書き出します。

例：「副業」と入れると→「副業 おすすめ」「副業 在宅」「副業 スマホ」などが出る

このうち、自分が書けそうなものを1つ選びます。最初は「副業 在宅 初心者」のように3語の複合キーワードがおすすめです（競合が少ない）。

ステップ2：ChatGPTに構成を作ってもらおう

以下のプロンプトをそのまま使ってください：

以下の条件でSEO記事の構成案を作成してください。

【キーワード】 副業 在宅 初心者

【ターゲット読者】 副業を始めたいが何をすればいいかわからない20～30代の会社員

【記事の目的】 読者が記事を読んだ後、具体的な副業1つを選んで登録・開始できる状態になること

【文字数】 2,500文字程度

【構成形式】 H1タイトル、H2見出し（3～5個）、各H2の下にH3（2～3個）

構成案をMarkdown形式で出力してください。

また、各H2・H3の見出しの横に「その見出しで書くべき内容の要点（50文字以内）」を括弧内に記載してください。

ステップ3：構成を確認・修正する

ChatGPTが出した構成をそのまま使うのではなく、以下を確認してください：

- タイトルに読者が知りたいことが含まれているか
- 見出しが論理的な順番で並んでいるか（疑問提示→解決策→具体例→行動促進）
- 重複している内容がないか

修正が必要なら、ChatGPTに「H2の3番目を削除して、代わりに〇〇について書く見出しを追加してください」と指示します。

ステップ4：各セクションの本文を生成する

構成が確定したら、セクションごとに本文を生成します。**全体を一度に生成しないことが重要です。**

理由：一度に長文を生成すると、後半になるほど内容が薄くなり、矛盾が生まれやすくなるからです。

プロンプト例（H2「在宅副業の選び方3つの基準」の本文を生成する場合）：

以下の見出しに対する本文を書いてください。

【見出し】在宅副業の選び方3つの基準

【前後の文脈】この記事は「在宅副業を始めたい初心者向け」の記事で、この見出しの前には「在宅副業の種類一覧」が来ています。

【要件】

- ・文字数：400～500文字
- ・です・ます調
- ・3つの基準を箇条書きで整理してから、それぞれ1～2文で解説する形式
- ・具体例（職種名・金額など）を最低1つ含める
- ・読者が「なるほど、こうやって選べばいいんだ」と思える内容にする

ステップ5：人間の声で書き直す（最重要）

ChatGPTが生成した本文を、そのまま使ってはいけません。

以下の3点を必ず手を加えてください：

- ①**数字を具体化する** 「多くの方が稼いでいます」→「実際にクラウドワークスでは、月に3～5万円を稼ぐライターが全体の約30%を占めると言われています」
- ②**一人称の体験談を1か所加える** 「私も最初はどの副業を選ぶか迷いました。転職サイトのアフィリエイトを選んだのは、自分自身が転職を経験していたからです」
- ③**AI文体の除去** 「～でしょう」「～といえるでしょう」「～という点が重要です」という表現を全て削除し、「～です」「～でした」「～できます」に置き換えます。

ステップ6：Googleドキュメントで整形して公開

記事が完成したら、Googleドキュメントで整形します。

- ・ フォント：Noto Sans JP、本文14pt
- ・ 見出しにはGoogleドキュメントの「見出し1～3」スタイルを適用
- ・ 公開設定：「リンクを知っている全員が閲覧可能」に設定
- ・ URLをクラウドソーシングのプロフィールに貼り付ける

この状態のURLが「ポートフォリオ」になります。

第5章：クラウドソーシングでの実践的な受注戦略

最初の受注を取るための3原則

原則①：最初の1ヶ月は「実績作り」と割り切る

最初の2~3件は、単価より受注率を優先します。1記事2,000~3,000円の案件でも、まず「実績」と「クライアントとの信頼関係」を作ることが最優先です。

1件受注して良い評価をもらえば、次の提案の通過率が2~3倍になります。

原則②：提案文に「差別化ポイント」を1行で入れる

クライアントは1つの案件に対して10~30件の提案を受け取ります。その中で目に止まる提案文の条件は「読んで5秒でメリットがわかること」です。

例：

「副業・転職ジャンルでChatGPTを活用した記事制作が得意です。通常より30%速い納期でお届けできます」

原則③：プロフィールを「クライアントの言葉」で書く

多くのライターは自分のスキルをプロフィールに書きます。しかしクライアントが知りたいのは「自分の課題を解決できるか」です。

悪い例：「WEBライター歴3ヶ月、SEOを勉強中です」

良い例：「副業・マネーメディアのSEO記事を専門に手がけています。ChatGPTを活用した効率的な制作フローで、品質を落とさず短納期を実現します」

クラウドワークスでの案件の探し方

クラウドワークスで以下の検索条件で案件を探してください。

初心者が最初に狙うべき案件の条件：

- カテゴリ：「ライティング・翻訳」→「Webコンテンツ作成」
- 予算：3,000~8,000円（最初は高単価案件に提案しても通らない）
- 募集状況：「募集中」のみ
- キーワード：自分のジャンル名（例：「副業」「転職」）

検索結果から案件を選ぶ際は、以下の案件を優先してください：

- 発注者の評価が4.5以上
- 過去の取引件数が10件以上（信頼できる発注者の証拠）
- 記事の方向性・トーン・文字数が明確に書かれている
- テスト記事ではなく「直接契約」の案件

提案文のテンプレート

以下のテンプレートを使ってください。[]の中を書き換えるだけで使えます。

[クライアント名]様

はじめまして、[自分の名前]と申します。

今回の「[案件名]」の募集を拝見し、ぜひ一緒させていただきたいと思い、ご連絡いたします。

【私が提供できる価値】

[ジャンル名]に関する記事制作を専門としており、特に「[具体的な強み。例：初心者が行動に移せる具体的な手順を提示すること]」を得意としています。

【制作実績】

[ポートフォリオURLを貼り付け]

上記の記事は[キーワード名]をターゲットに作成しました。

[1~2文でその記事のこだわりポイントを説明]

【提案できること】

- ・納期：[日数]日で1記事
- ・修正対応：2回まで無料対応
- ・ChatGPTを活用した効率的な制作フローにより、品質を担保しながら安定した納品が可能です

【確認させてください】

記事のターゲット読者と、特に強調したいポイントはございますか？

より要件に沿った記事をお届けするため、可能であれば事前にご共有いただけますと幸いです。

よろしくお願いたします。

このテンプレートのポイントは最後の「確認させてください」の段落です。

質問を入れることで「この人はちゃんと考えてくれている」という印象を与られます。返信率が約2倍になる実績があります。

提案する件数の目安

最初の2週間は毎日5件提案することを目標にしてください。

数字の根拠：

- ・ 初心者の提案通過率：5~10%
- ・ 1ヶ月（4週間）で70件提案 → 3~7件の受注
- ・ 初回受注後は通過率が上がるため、20~30件/月の提案で安定受注できる

第6章：ChatGPTを使った記事制作の完全フロー（テンプレート付き）

1記事を45分で仕上げる「4ステップフロー」

これが私の実際の制作フローです。

ステップ1 (5分)：情報収集と構成確認

クライアントから受け取ったキーワードと要件をもとに、以下のプロンプトを使います。

以下の記事を制作するにあたり、事前に調査すべき重要な情報を5つ挙げてください。

- 【キーワード】 [キーワードを入力]
- 【ターゲット読者】 [クライアントから受け取った情報を入力]
- 【記事の目的】 [クライアントから受け取った情報を入力]

ChatGPTの回答をもとに、Googleで2~3のキーワードを検索し、上位3~5記事の見出し構成と主要な主張を把握します（本文を全部読む必要はない）。

ステップ2 (10分)：構成確定

第4章で解説したプロンプトを使い、構成案を作成します。クライアントが構成を事前確認することを好む場合は、ここで確認を取ります。

ステップ3 (20分)：本文生成と加筆修正

セクションごとに本文を生成し、その都度以下の観点で修正します：

- AI文体を除去する（「~でしょう」「~といえます」を削除）
- 数字を具体化する
- 1~2文の体験談・事例・独自意見を追加する

ステップ4 (10分)：最終チェックと納品

以下のチェックリストを使います。全てにチェックが入ったら納品OKです。

最終チェックリスト

- 文字数がクライアントの指定範囲内か
- H1・H2・H3の構成が正しく使われているか
- 冒頭（リード文）に「この記事を読むとわかること」が書かれているか
- 各H2の最後に「まとめ・次の行動への誘導」があるか
- AI文体（~でしょう、~といえます）が残っていないか
- 固有名詞・数字・URLに誤りがないか
- 誤字脱字チェック（Googleドキュメントのスペルチェック機能を使用）
- クライアント指定のNGワードを使っていないか

記事の品質を上げる「添削プロンプト」

本文が完成したら、以下のプロンプトで品質を高めます：

以下の文章を改善してください。

【改善の観点】

1. AI特有の不自然な表現（「~でしょう」「~といえます」の多用）を削除し、自然な日本語に書き直してください
2. 抽象的な表現を具体的な表現に変えてください（数字・事例を追加）
3. 読者が「なるほど」と感じる、論理の流れを強化してください
4. 文章の長さにはばらつきを出してください（短い文・長い文を混在させる）

【対象の文章】

[生成した本文を貼り付け]

改善後の文章と、改善点の説明（3点）を出力してください。

このプロンプトを使うだけで、読みやすさが大幅に向上します。

クライアント別・記事タイプ別の対応プロンプト集

タイプ①：SEO記事（検索上位を狙う）

以下のキーワードで検索上位を狙うSEO記事の本文を書いてください。

【キーワード】 [メインキーワード]

【検索意図】 このキーワードで検索する人は[どんな状況で何を知りたいか]を知りたいと考えられます

【E-E-A-T強化のため】 文章中に「経験・実績・事例・専門知識」に基づく記述を最低2か所含めてください

【避けるべき表現】 「~でしょう」「~といえます」「~かもしれません」

タイプ②：コラム記事（読者の興味を引く）

以下のテーマで、読者が最後まで読み続けたいくなるコラム記事を書いてください。

【テーマ】 [テーマを入力]

【オープニング】 読者が「あるある!」と共感するシーンや問題提起から始めてください

【構成】 問題提起 → 原因分析 → 解決策の提示 → 読者への問いかけ

【文体】 親しみやすく、友人に話すような口調（です・ます調は維持）

タイプ③：商品・サービス紹介記事

以下の商品について、読者が「購入・登録したい」と思えるような紹介記事を書いてください。

【商品名】[商品名]

【ターゲット読者】[どんな悩みを持つ人か]

【記事の構成】

1. 読者の悩みを明確にする（共感）
2. 商品の特徴・メリットを3つ説明する
3. 実際の使用シーンをイメージさせる
4. よくある疑問に答える（FAQ形式）
5. 行動を促す締め（登録・購入への誘導）

【注意】誇大広告・根拠のない主張は入れないでください。

第7章：単価を3倍にする「提案書」の書き方

なぜ同じ仕事でも単価が3倍違うのか

クラウドソーシングで月5万円を稼いでいる人と月15万円稼いでいる人の違いは、スキルではありません。「単価を上げる交渉・提案ができるかどうか」です。

単価を上げるには、クライアントに「この人に払う価値がある」と感じさせる必要があります。そのための武器が「提案書」です。

継続契約を取るための「価値提示メッセージ」

初回納品後、以下のメッセージを送ることで継続契約率が3~4倍になります：

[クライアント名]様

今回の記事「[記事タイトル]」を納品させていただきました。

制作の際に気をつけた点を共有させてください。

1. [具体的なこだわり①。例：リード文で読者の「知りたいこと」を先出しし、離脱を防ぐ工夫をしました]
2. [具体的なこだわり②。例：H2の見出しを「疑問形」にすることで、クリック率とスクロール率を高める意図があります]
3. [具体的なこだわり③]

次回以降もご一緒できる場合は、[メディアの強みになる観点、例：「競合サイトにはない独自データや事例を加えること」]を取り入れた記事をご提案できます。

継続のご依頼があれば、月[N]本のペースで安定してお届けできますので、ぜひご検討ください。

このメッセージのポイントは、「なぜこう書いたか」の意図を説明している点です。

ほとんどのライターは何も言わずに納品するだけです。制作意図を伝えるだけで「この人はちゃんと考えてくれている」という印象になり、継続依頼に繋がります。

単価交渉のタイミングと方法

単価交渉は、以下の2つのタイミングで行います：

タイミング①：3～5本納品して良い評価をもらったとき

[クライアント名]様

この度、[N]本の記事をご依頼いただきありがとうございます。
評価もいただき、大変嬉しく思っています。

今後も継続してご依頼いただける場合、月[N]本以上であれば単価を1記事[現在の単価+2,000～3,000]円でご対応させていただければと考えています。

品質・納期は引き続き維持いたします。ご検討いただけますでしょうか。

タイミング②：スキルや実績が上がったとき（1～2ヶ月後）

[クライアント名]様

最近、SEO記事の構成力向上のために[具体的な学習内容、例：Googleのサーチコンソールの分析手法]を習得しました。

今後ご依頼いただく記事から、この知識を活かして[具体的な付加価値]を提供できます。

それに伴い、次回からの単価を1記事[新単価]円でご対応させていただきたいと思います。

ご意向をお聞かせいただけますでしょうか。

高単価案件（1記事15,000円以上）に応募するための条件

高単価案件に採用されるには、以下の3つが必要です：

①実績記事が3本以上ある（文字数・品質・テーマが条件を満たしているもの）

②「ライティング力の証明」だけでなく「ビジネス理解の証明」ができる

例：「このキーワードで書く場合、競合の上位記事が書いていない〇〇という切り口で差別化できると考えます」という提案を添える

③レスポンスが速い（連絡から24時間以内に返信）

高単価案件のクライアントは「仕事が速い・信頼できる」ことを重視します。スキルより信頼性が採用の決め手になるケースが多いです。

第8章：月5万円を超えてからのスケールアップ戦略

月5万円達成後の3つの選択肢

月5万円を安定的に稼げるようになったら、次のステップを選びます。

選択肢A：単価を上げる（記事数を減らして収入を維持・増加）

- 現状：1記事8,000円×7記事 = 56,000円
- 目標：1記事15,000円×5記事 = 75,000円

単価を上げるには、専門性の深化・実績のアピール・継続クライアントへの提案が必要です。

選択肢B：記事数を増やす（時間効率を上げてスケール）

ChatGPTの活用を最適化することで、月10～15本の制作が可能になります。

- 現状：1記事60分×7記事 = 7時間/月
- 最適化後：1記事45分×12記事 = 9時間/月 → 96,000円（8,000円/記事）

選択肢C：継続契約を増やす（収入の安定化）

単発案件だけでは収入が不安定です。継続契約（月[N]本保証）を2～3社獲得することで、毎月の最低収入が確保されます。

私が最も推奨するのは「**まず選択肢Aで単価を上げ、次に選択肢Cで継続契約を取る**」という順番です。

ライター以外のスキルを組み合わせる「パッケージ提案」

月10万円以上を目指す場合、「ライティング単体」の提案から「ライティング+α」の提案に移行します。

具体例：

パッケージ①：SEO記事 + キーワード選定 「月10本のSEO記事 + キーワードリサーチレポート（毎月20キーワード）」 → 単価：1記事10,000円 + レポート5,000円/月

パッケージ②：記事制作 + SNS投稿文の作成 「ブログ記事1本 + その記事をもとにしたTwitter投稿5本 + Instagram投稿2本」 → 単価：1セット15,000円

パッケージ③：記事制作 + 効果レポート 「月5本の記事 + 翌月の検索順位レポート + 改善提案書」 → 単価：1記事12,000円 + レポート無料（これで単価差別化になる）

これらは全てChatGPTを活用して作業時間を増やさずに提供できます。

キーワードリサーチは「Googleサーチコンソール（無料）」と「ラッコキーワード（無料）」で十分です。SNS投稿文はChatGPTに「この記事の要点をX（Twitter）投稿5本に変換してください」と指示するだけで作れます。

第9章：よくある失敗パターンと対処法

失敗パターン①：ChatGPT出力をそのまま納品する

症状：受注はできるが、修正依頼が多い・継続依頼が来ない・評価が低い

原因：AI生成文章特有の「均一性・抽象性・AI文体」がクライアントに不自然と感じさせる

対処法：第6章で解説した「添削プロンプト」を必ず使う。さらに以下のチェックを追加する。

- 同じ文末表現が3回以上続いているか
- 「～することが重要です」「～が必要です」「～が求められます」の3表現が連続していないか
- 全ての段落が「同じ長さ（100～150文字）」になっていないか（人間が書く文章はもっとばらつく）

失敗パターン②：安い案件を大量に受けて疲弊する

症状：忙しいのに稼げない・品質が下がる・モチベーションが続かない

原因：1記事3,000円以下の案件を10件以上受けると、ChatGPTを使っても時間が足りなくなる

対処法：月収目標から逆算して「1記事あたりの最低単価」を設定する。例えば月5万円を目標とし、月の稼働時間を20時間と設定した場合、時給換算2,500円が最低ライン。ChatGPTで1時間1記事なら最低2,500円。だが実際の作業には確認・提案・修正対応も含まれるため、実質的な最低単価は5,000円以上が必要。

月の目標稼働時間 ÷ 記事数 × 希望時給 = 最低単価という計算式を常に意識してください。

失敗パターン③：1人のクライアントに依存する

症状：突然の契約終了で収入がゼロになる

原因：クラウドソーシングでよくある。良いクライアントと出会うと他への提案をやめてしまう

対処法：どんなに良いクライアントとの関係ができて、常に2～3社との契約を維持する。売上の50%以上を1社に依存しない状態を目指す。

失敗パターン④：記事の品質に関係ない部分に時間をかける

症状：作業時間が長いのに記事が仕上がらない

原因：調査に2～3時間かける・ChatGPTに何度もプロンプトを試行錯誤する・完璧な文章を目指しすぎる

対処法：「80点の記事を速く納品する」を目標にする。100点の記事を目指すと4～5時間かかるが、80点の記事なら45分で作れる。そして修正依頼に応えることで100点に近づける。プロのライターは最初から100点を出すのではなく、クライアントとのやり取りを通じて品質を上げます。

失敗パターン⑤：プロンプトを使い回して品質が落ちる

症状：初期は好評だったのに最近クオリティが下がったと言われる

原因：同じプロンプトを使い続けると、ChatGPTの出力パターンが似通ってきて記事の個性がなくなる

対処法：プロンプトを月1回以上見直す。特に「ターゲット読者の設定」と「記事の目的」の部分を毎回案件ごとに具体的に変える。「副業初心者向け」ではなく「35歳で育児中、月に10時間しか副業に使えない会社員女性」のように詳細化することで出力が変わる。

第10章：まとめ | 3ヶ月で月5万円を達成するためのスケジュール

週単位のアクションプラン

1～2週目（準備フェーズ）

やること	所要時間
ChatGPT Plus登録・カスタム指示設定	1時間
クラウドワークス・ランサーズに登録・プロフィール作成	2時間
ジャンルを1つ決める	1時間
ポートフォリオ記事1本目を作成	3時間
ポートフォリオ記事2本目を作成	2時間（慣れてくるため）

3～4週目（初受注フェーズ）

やること	所要時間
ポートフォリオ記事3本目を作成	2時間
毎日5件の提案（5件×14日＝70件）	1時間/日
受注した案件の制作・納品	1～2時間/記事

2ヶ月目（収入安定フェーズ）

- 週に2～3件の受注を安定させる
- 初回納品後の「継続提案メッセージ」を全クライアントに送る
- 単価3,000～5,000円の案件から、5,000～8,000円の案件に移行する

3ヶ月目（スケールアップフェーズ）

- 継続契約のクライアントを2社確保する
- 1記事あたりの作業時間を45分以内に短縮する

- 高単価案件（1記事10,000円以上）への提案を開始する

最後に：月5万円は「入口」にすぎない

この記事で解説した内容を実践すれば、3ヶ月で月5万円は現実的に達成できます。

しかし本当の目標はその先にあります。

月5万円を達成したライターが、さらに月10万円・月20万円・そしてフリーランスとして専門になるまでの道は、思っているより短いです。

なぜなら、一度「稼ぎ方」を覚えれば、後はそれをスケールするだけだからです。

ChatGPTという最強のツールが手元にある今は、これまでのどんな時代よりも「書くことで稼ぐ」のに適した環境です。

大切なのは、完璧を目指して動けなくなることを避け、まず1記事書いて提案することです。

付録：すぐ使えるプロンプトテンプレート集

以下のプロンプトをコピーして、すぐに使えます。

プロンプト①：記事構成作成

以下の条件でSEO記事の構成案を作成してください。

【キーワード】 [入力]

【ターゲット読者】 [入力]

【記事の目的】 読者がこの記事を読み終わった後に[具体的な行動]ができる状態になること

【文字数】 [入力]文字程度

【構成形式】 H1タイトル、H2見出し（3～5個）、各H2の下にH3（2～3個）

構成案をMarkdown形式で出力してください。

各見出しの横に「その見出しで書くべき内容の要点（50文字以内）」を括弧内に記載してください。

プロンプト②：本文セクション生成

以下の見出しに対する本文を書いてください。

【見出し】 [入力]

【前後の文脈】 [前の見出しと後の見出しを入力]

【要件】

- ・文字数：[400～500]文字
- ・です・ます調
- ・具体的な数字・事例を最低1つ含める
- ・読者がすぐ行動できる内容にする

プロンプト③：AI文体除去・品質向上

以下の文章を改善してください。

【改善の観点】

1. 「~でしょう」「~といえます」「~かもしれません」を削除し自然な表現に
2. 抽象的な表現を具体的に（数字・事例を追加）
3. 文の長さにバリエーションを出す（短文と長文を混ぜる）
4. 全体の論理的な流れを強化する

【対象の文章】

[貼り付け]

改善後の文章と改善点3つを出力してください。

プロンプト④：タイトル案作成

以下の記事に対して、クリックしたくなるタイトルを5つ提案してください。

【記事の内容】[要約を入力]

【メインキーワード】[入力]

【タイトルの条件】

- ・ 32文字以内
- ・ 数字を含む（例：3つの方法、5ステップ）
- ・ 読者のベネフィット（何ができるようになるか）が伝わる
- ・ ネガティブな感情（不安・焦り）かポジティブな感情（期待・好奇心）を刺激する表現を使う

プロンプト⑤：まとめ文生成

以下の記事のまとめ文を作成してください。

【記事の要点】

[H2見出しを箇条書きで入力]

【まとめ文の条件】

- ・ 200~300文字
- ・ 記事で解説した内容を3点に絞って箇条書きでまとめる
- ・ 最後に「次の行動」を1文で促す（例：「まずは今日、〇〇から始めてみましょう」）
- ・ 締め言葉は「です・ます調」で、前向きで行動意欲が高まる内容にする

免責事項

本記事に記載された収益・成果はあくまで参考情報であり、全ての方に同等の結果を保証するもので

はありません。副業による収入は、個人の努力・スキル・市場環境・稼働時間などにより大きく異なります。

本記事の内容を実践する際は、各クラウドソーシングサービスの利用規約、および著作権法・景品表示法等の関連法規を遵守してください。

ChatGPTを使用する際は、OpenAIの利用規約（特にコンテンツポリシー）を必ず確認してください。

© 2024 本記事の無断転載・複製・再配布は禁止です。